

第6回 フロアボールの普及をめざして

～ 日本代表として世界大会に出場 ～

5月8日から5月12日までの日程で、カナダ ハリファックスにて開催された「2019 男子 U19 世界フロアボール選手権大会」に男子 U19 日本代表チームのメンバーとして出場した2年金子さんに話を伺いました。

フロアボールという競技について教えてください。

アイスホッケーを体育館で行うとイメージしてもらおうといいかと思います。スティックを持ち、中が空洞のボールを使います。キーパー以外に、5人のフィールドプレイヤーでチームを組みます。

いつ頃から始めたのですか。

小学校に入る前から、友達に誘われて始めました。中学校時代は、バスケットボールをやっていましたが、高校に入ってから再開しました。普段は、神奈川フロアチームリミテッドというチームのメンバーとして、川崎にある体育館等で練習をしています。

カナダ遠征について、聞かせてください。

ワールドフロアボールチャンピオンシップに U19 の日本代表として、出場してきました。



予選リーグでは、アメリカ、ロシア、ポーランドと戦いました。初戦のロシア戦は、7-6で負けてしまいましたが、強豪といわれるチームと互角に戦えたかなと思いました。2回戦は4チームの中で最強と言われるポーランド戦で、先制スタートを切れたのですが、残り時間わずかのところで逆転されてしまいました。(3-2)最後のアメリカ戦も結果的に7-6で負けてしまいましたが、世界の壁は高いと思って臨んだのですが、一定の手ごたえは得られたかなと思っています。その後は順位決定戦でニュージーランドと戦い、12-2と大差で勝利しました。来年、もう1回、U19の大会に出ることができるので、今年より上位をねらっていきたいと思います。

カナダでの国際試合に、日本代表として初めて参加して、どうでしたか。



外国の選手と向き合うと強そうだなと感じるし、大会の雰囲気も国内とは違いました。試合前に君が代が流れて、ああ自分は日本代表としてきたのだ、がんばろうと思いました。実際、外国の選手は体格が違うし、フィジカル能力が高いと思いました。一方で、体の入れ方などでは、負けてないなと感じました。

カナダでの生活はどうでしたか。

連日試合が続き、時々買い出しに行くくらいで、あまり現地の人との交流はありませんでしたが、英語は大事だなと実感しました。

フロアボールの魅力はどんな点ですか。

バスケットボールと比較すると、同じくらいのスピード感があるのですが、点がなかなか入りにくいので、よ～し、決めてやるぞという自分の熱量があがります。1点の価値が高いので、点が入ったときのうれしさは最高です。

フィールドにいるのは5人ですが、セット毎にメンバーが入れ替わりつつ戦うチームスポーツだということも魅力です。そういう意味では、人の配置を采配するコーチング能力の育成も今後必要なことだと思います。また、競技人口がまだ少ないので、大きい大会に出る機会も得やすいというのも魅力のひとつかもしれません。

一方で、パイオニアとしての苦勞もあるのではないですか。

皆に認知されていないことが課題です。フロアボール、といってもなかなか理解してもらえず、説明するところからなので、悲しい思いをします。練習場所が限られていて、なかなか確保できないという悩みもあります。地元横浜市にはチームがないので、川崎に行っていますが、もっと普及して多くの人がやるようになったらと思います。

今後、フロアボールとどのように関わっていきたいですか。

フロアボールは、北欧のあるスポーツなのですが、日本ではまだまだ知名度が低いので、もっと普及させたいと思っています。KU（光陵ユニバース）でもそのことをテーマにしています。具体的には、フロアボールを広めていくためには何が必要なのか、どういう人材が必要なのかという点を、JリーグやBリーグなどのプロスポーツとの比較をすることで明らかにしていきたいと思っています。プロスポーツはビジネスなので、大学では経営学を学びたいとも考えています。

フロアボールは生涯スポーツの観点からも期待が持てるスポーツです。フロアボールと似たものとして、日本特有のものとして、ネオホッケーという種目があり、これは年齢を問わず安全にできるので、こちらも含めて広めていきたいと思っています。

光陵高校に入学して、どうですか。

私は、KU（光陵ユニバース）で、フロアボールのことをテーマにしていますが、そのおかげで、フロアボールをもっと好きになれたし、とても良かったなと思っています。自分の将来に向けても方向性を見出すことができました。

KU（光陵ユニバース）での探究活動が、意味のあるものになっていくのは、本当にうれしく思います。フロアボール普及のためにも、引き続き頑張っしてほしいと思います。今日は、どうもありがとうございました。